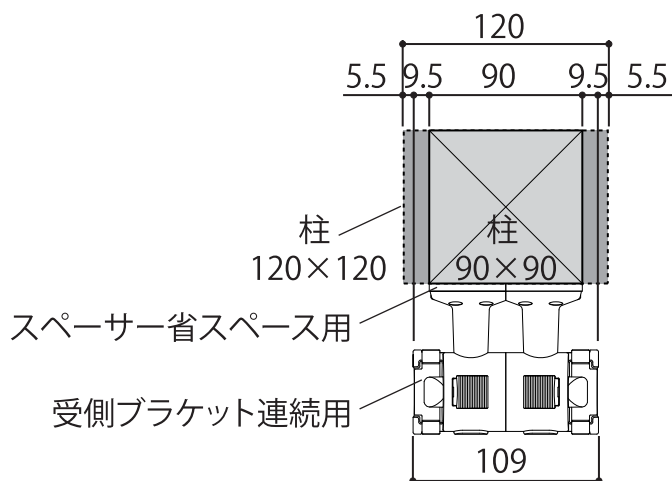


襖用脱着手すり連続用ブラケット 施工説明書 BF-29

襖用脱着手すり連続用ブラケットは、連続した襖の中間柱に設置して、「BF-26襖用脱着手すりブラケットN」(別売)とセットでお使いいただける中間ブラケットです。安全に使用して頂けるよう、またトラブルの無い確実な取付けをして頂くためにも、施工の際によくお読み頂き以下の事を必ずお守りください。

施工上の注意

- 当製品は室内用です。屋外および浴室には使用できません。
- 受側ブラケット連続用を取付けるためには、柱(下地幅) **90mm**以上が必要です。



- φ35、φ32手すり兼用です。φ35をご使用の場合は、予め嵌め込んであるφ32アダプターを取りはずしてご使用ください。φ32をご使用の場合はφ32アダプター、スペーサーをご使用ください。
- 35・32シリーズ木製手すり(ホワイトアッシュ)をご使用の場合、ブラケットピッチは φ35の場合、900mm以内 φ32の場合、700mm以内 で取付けてください。
- 900mmより広いピッチでご使用の場合は必ず当社指定の手すり棒をご使用ください。
・襖用脱着手すり棒 φ35、L=2000
- 下地の無い場合は下地補強をしてください。
- ドアの錠前などが手すりに当たる場合は、壁にベースプレートを取付けて、ブラケットの出寸法を変えてください。



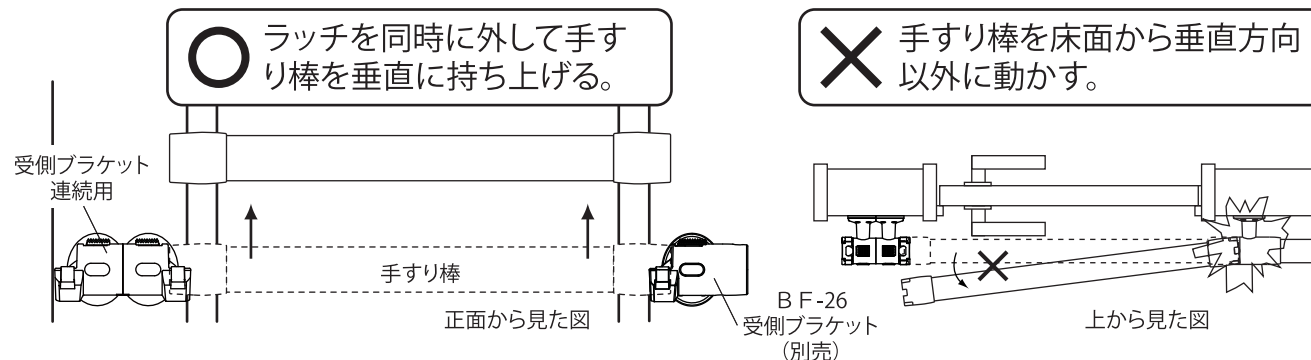
警告

!外開き扉部分に使用される場合は、閉じ込め事故等にご注意ください。
!この商品は手すり棒先端のキャッチソケットが受側ブラケット(連続用)に確実にセットされている時に強度が保持されます。受側ブラケット(連続用)にセットされた時には、毎回確実にセットされていることをご確認ください。
!ケガ・床の破損・部品の破損の原因になりますので手すり棒の落下等には十分ご注意ください。

お願い：施工後この施工説明書をお客様へお渡しください。

使用上の注意

- 手すり棒の取外しは、両側のツマミをスライドさせ、ラッチを外してから垂直に持ち上げてください。
注)両側同時にラッチ解除する場合：ラッチを両側同時に解除して手すり棒を垂直に持ち上げてください。
注)片側ずつラッチ解除する場合：一方のラッチが掛かったまま、ラッチ解除した側の手すり棒先端を、垂直方向以外に動かさないでください。ブラケット破損につながります。



■襖用脱着手すり連続用ブラケット[BF-29] 梱包部品

1 受側ブラケット連続用	2 キャッチソケット	3 φ32アダプター	4 スペーサー省スペース用
5 ブラケット取付けねじ	6 手すり取付けねじ	7 金属手すり取付けねじ	
※取付けの際には壁にφ3程度の下穴を空けてください。 	※取付けの際にはφ3程度の下穴を空けてください。 	※襖用脱着手すり棒専用 	
⊕丸皿タビ°ンねじ3.5×40	⊕丸皿タビ°ンねじ3.5×20	⊕皿ドリルねじ3.5×19	

■襖用脱着手すり連続用ブラケット[BF-29] 梱包部品一覧

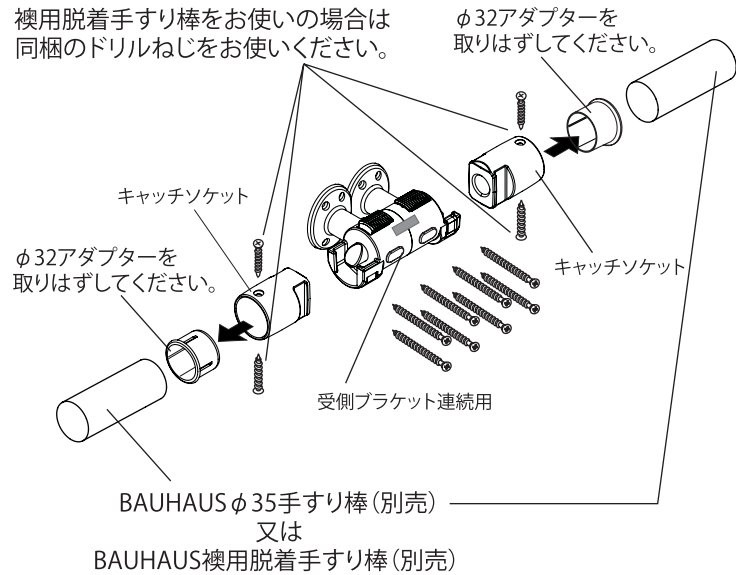
番号	部品名	仕様	数量
1	受側ブラケット 連続用	本体:アルミ合金 アクリル系樹脂焼付け塗装 キャップ等:POM	1個
2	キャッチソケット	アルミ合金 アクリル系樹脂焼付け塗装	2個
3	φ32アダプター	A B S	2個
4	スペーサー 省スペース用	A B S	2個
5	ブラケット取付けねじ ⊕丸皿タビ°ンねじ3.5×40	鉄製	8本
6	手すり取付けねじ ⊕丸皿タビ°ンねじ3.5×20	鉄製	4本
7	金属手すり取付けねじ ⊕皿ドリルねじ3.5×19	鉄製	4本

施工手順

お願い：施工後この施工説明書をお客様へお渡しください。

■ φ35手すり棒を取付ける場合

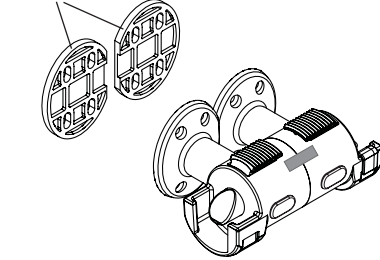
襖用脱着手すり棒をお使いの場合は同梱のドリルねじをお使いください。



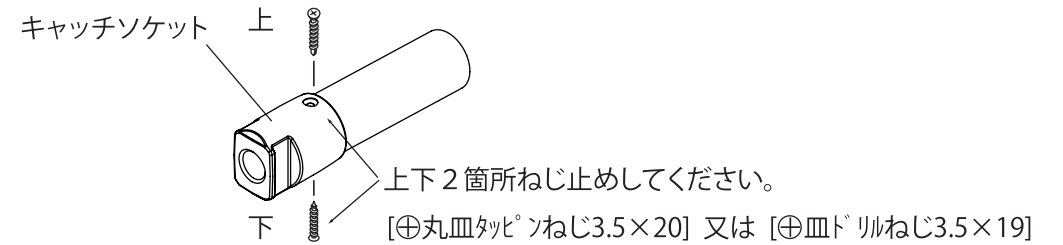
■ φ32手すり棒を取付ける場合

- φ32アダプターを外さないでください
- 連続手すり側にBAUHAUS φ32手すり棒を使用する場合はスペーサー省スペース用をご使用ください。

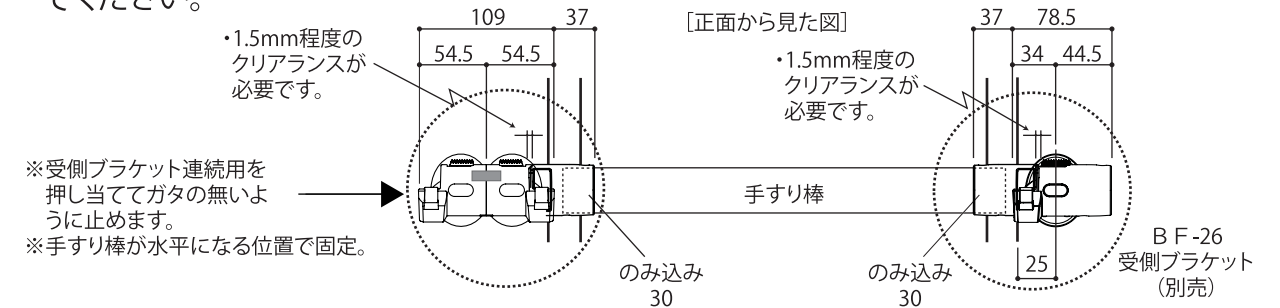
スペーサー 省スペース用
厚さ4mm



- 片方のキャッチソケットを差し込み、手すり棒とねじ止めしてください。
(襖用脱着手すり棒の場合はドリルねじを使用してください。)



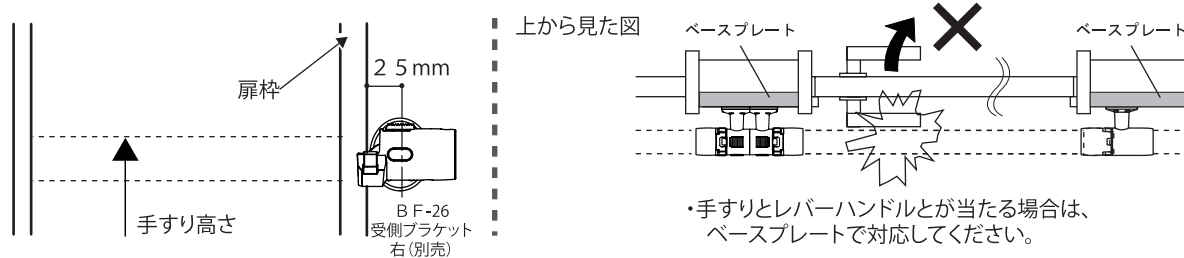
- 受側ブラケット連続用を取付けます。
もう片方のキャッチソケットを手すり棒に差し込み、両端を受側ブラケット(連続用)にセットして、手すり棒が水平になる位置で、先に受側ブラケット連続用をねじ止めします。
注)両側の受側ブラケット(連続用)の上下位置を合わせ、ねじれ位置にならない様に止めてください。



※「BF-26襖用脱着手すりブラケットN(別売)」の施工手順もお読み頂きながら、施工してください。

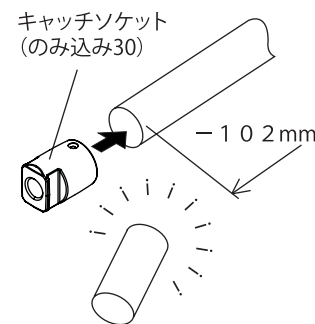
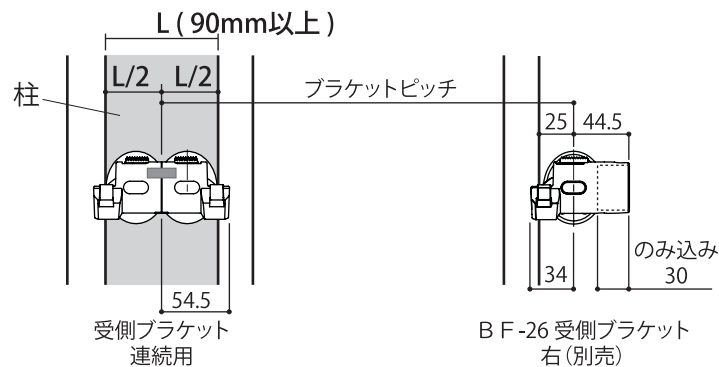
- 「BF-26襖用脱着手すりブラケットN(別売)」の片方の受側ブラケットを取付けます。
(説明では右を先に取付けます)

扉枠からブラケットのセンターピッチで25mm以上取ってください。
レバーハンドルなどに手すり棒が当たる場合は別途ベースプレートで対応してください。
注)廊下等の横手すりと連続で使用される場合は、その高さに合わせてください。



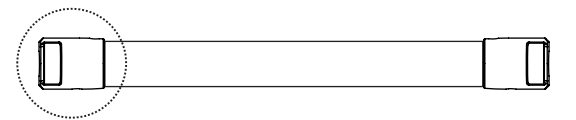
- ブラケットピッチを決めて手すり棒をカットします。

手すり棒長さ=ブラケットピッチから、-102mmカットします。

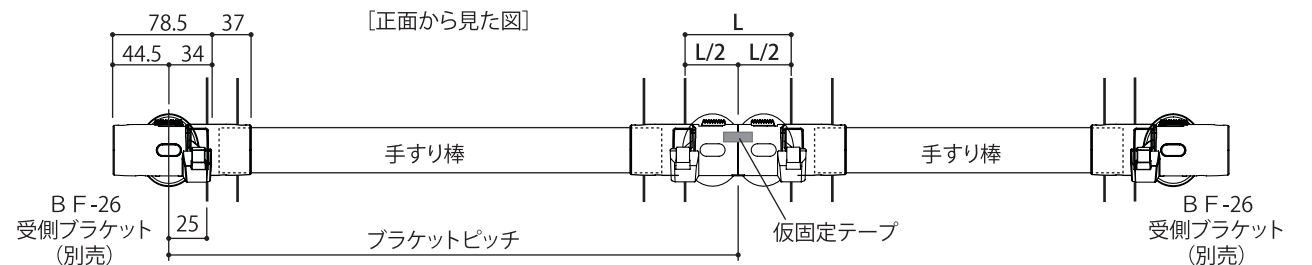


- 受側ブラケット連続用を取付けた後、もう片方のキャッチソケットをねじ止めします。

キャッチソケットの固定位置を左右対称に止める。



- 手順2～5を繰り返し、受側ブラケット連続用の左側部も取付けてください。



- 受側ブラケット連続用に貼っている仮固定テープをはがしてください。(2ヶ所)
- 各部品がしっかり固定されているか、ロックが掛かるか、動作確認を行ってください。

お問い合わせ先

